消防宗像

救急出動件数が過去最多!!

平成30年中、救急出動件数は6660件で、前年に比べると275件増加し、過去最多となりました。平成26年から5年連続で増加しています。

救急車適正利用についてのお願い

宗像地区消防本部では、5台の救急車を配置して、24時間体制で管内（宗像市・福津市）の救急事故などに対応しています。

救急要請の中には、「かすり傷などの軽いケガ」や「夜間・休日のため診察時間外であった」など、緊急を要しない出動が増えており、救急件数増加の大きな原因となっています。

119番通報を受けると、通報場所に一番近い救急車が駆けつけることになりますが、このままでは本当に救急車が必要な緊急を要する方への対応が遅れてしまうことが予想されます。

119番通報するときは、もう一度考えて、緊急性がなく、救急車以外に通院手段がある場合には救急車の利用を控え、自家用車や患者搬送タクシーなどを利用してください。

ただし、事故の状況や病気の症状からみて緊急だと感じたら、迷わずすぐに119番通報してください。

救急車は限られた資源です！

市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします

＼救助工作車を更新！／

約20年間各種の災害に出動してきた宗像消防署の救助工作車を更新し、平成31年２月14日から運用を始めています。

今回配備した救助工作車は、さまざまな救助資機材を備えており、あらゆる災害に対応できる仕様となっています。

車両横に描かれているイラストは、困っている人にとってのヒーローになりたいという思いが込められています!!

救助工作車の更新事務を担当した警防課警防係長の吉武司令補（写真左）、警防課警防係主任の大峰士長

交通事故現場などで使用するフロントウインチを備えています。

重量物（2.9t）も軽々持ちあげるクレーンや、夜間での活動に大活躍の照明も装備！

担当者の話

吉武司令補：この救助工作車は災害現場の最前線で活躍する車両です。困っている人を迅速に救助できるように考えながら設計をしました。

大峰士長：私は、この救助工作車を運用する救助隊の活動がスムーズに行うことができるように、資機材の配置場所などを考えて設計しました。

救助工作車って？

火災をはじめ、交通事故、水難事故や山岳事故など、あらゆる災害現場での救助活動を目的にした消防車のことです。

消防からお知らせ

春季火災予防運動

春先の火災が起こりやすい季節にあたり「忘れてない？　サイフにスマホに　火の確認」を平成30年度全国統一防火標語に、3月1日（金）から7日（木）までの7日間、全国一斉に春季火災予防運動が行われます。この運動にあわせ、宗像地区消防本部は、宗像地区防災協会、福津市女性防火クラブと合同で火災予防普及啓発活動を実施します。

《主な行事》

○密集地域火災予防広報

○幼年消防クラブ員の「防火ハッピ」着用による通園など

○各地区子ども会による防火夜回りの実施

■問い合わせ　予防課　☎(36)3080

定期救命講習の受講者募集

（受講料無料／修了証発行）

《種類》
上級救命講習：4月21日（日）
9時00分から18時00分まで（8時間）
普通救命講習Ⅰ：7月21日（日）
9時30分から12時30分まで（3時間）

《講習場所》消防本部「講堂」

《講習内容》心肺蘇生法、AEDの使用方法、その他の応急手当

《募集人数》定員50人

《申込方法》電話

■問い合わせ
救急課
☎(36)2455